



お知らせ

記者発表資料
配布日

平成24年3月14日

資料提供先：米子市政記者クラブ

日野川流域の総合的な土砂管理に関する 連絡協議会（第2回）の開催について

国土交通省日野川河川事務所では、国土形成計画（平成20年7月）に基づき、崩壊が進行する大山山系から、海岸の侵食が進行している皆生海岸まで一貫した、総合的な土砂管理等の取り組みを推進するため、流域の関係機関が一堂に集まって土砂管理の情報共有や問題点を話し合うための連絡協議会を平成23年9月に設立しました。

今回、総合土砂管理計画（案）の提案を行うため、第2回目の協議会を開催します。

記

○開催日時 平成24年3月16日（金） 14:00～16:00
・日野川水系及び皆生海岸総合土砂管理連絡協議会

○開催場所 国土交通省 日野川河川事務所 別館2階会議室
（米子市古豊千678）

<問い合わせ先>

国土交通省 中国地方整備局

日野川河川事務所

0859-27-5484（代表）

【担当】

副 所 長

調査・品質確保課長

かわもと
川本
かたよせ
片寄

ようじろう
洋次郎
ひでき
秀樹

（内線204）

（内線351）



協議会発足の背景

- 日野川流域は、「鉄穴（かんな）ながし」の終焉に伴う人為的な土砂供給量の減少や、解体期に入った大山源頭部の崩壊進行等に伴い、上流の砂防域（山地）・ダム域、中流の河道域、下流の海岸域までの各領域において、土砂に係わる課題が顕在化しています。
- 今までの取り組みとして、鳥取県が海岸保全のために全国に先駆け「鳥取沿岸の総合的な土砂管理ガイドライン」（平成17年6月）を策定し、沿岸域の各管理者が土砂管理において原則的に守る事項を定め、国も「国土形成計画」（平成20年7月）、「社会資本整備計画」（平成21年3月閣議決定）において、「関係機関との事業連携のための連携方針の策定など各事業間の連携を図りつつ、山地から海岸までの一貫した総合的な土砂管理に取り組む」重要性を示しています。

協議会の発足（平成23年9月9日）

- このような情勢を踏まえて、各領域の管理者がより一層の連携を図り、日野川水系及び皆生海岸を含む日野川流砂系における土砂の流れの改善に向けた方向性について、治山、砂防、ダム、河川、海岸、港湾、漁港の各管理者が共通認識を持ち、この流砂系が抱える問題点の解決に取り組んでいくための連絡協議会を、平成23年9月9日に設立しました。
- 初回の協議会では、①協議会の設立趣旨、②協議会規約、③協議会の運営方針、④今後の活動方針（ロードマップ）が確認されました。

今回の協議会の内容（平成24年3月16日）

- 今回の協議会では、前回の会議で示された活動方針により、総合土砂管理計画（案）を提案し、流域の土砂管理（国土保全と土砂供給）を行っていく上で今後各管理者が具体的にやっていく行動を話し合うものです。



1. 第1回連絡協議会のレビュー

土砂動態の現状と課題

海岸域

海岸侵食

鉄穴流しの終焉とともに海岸線の後退が開始。海岸保全施設の整備やサンドリサイクル等により、現在では汀線維持



土砂堆積（港湾埋没）

西向きに沿岸流により港湾施設での堆砂が発生

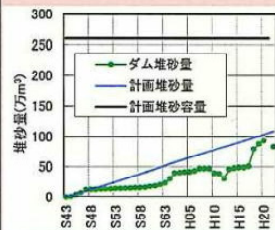
河口閉塞

河口砂州が存在し、洪水によりフラッシュされても数か月で砂州は復元

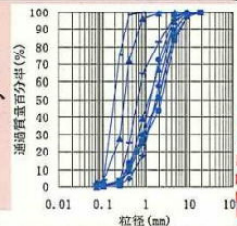
ダム域

ダム堆砂の進行

現状ではダムの機能に支障は発生していないが、今後大規模な出水に伴う堆砂の進行が懸念



宮沢ダムの堆砂量（浚渫後の実測値）



粒径加積曲線



大宮ダム貯水池内の堆積土砂（H21.1）



日野川流域
・幹川流路延長77km
・流域面積870km²

大山流域の地質は
主に安山岩類

日野川上流域の地質は
主に風化花崗岩類

河道域

土砂堆積、砂州の樹林化による
流下能力の減少、河口域への供給土砂量の減少

河道横断形状が変化し滞筋の固定化と砂州の樹林化が発生。植生域では土砂が捕捉され、海岸への供給土砂量が減少



航空斜め写真（H17.6撮影）

局所洗掘、河床材料の変化

滞筋の固定化により堤防際で局所洗掘、河床材料の粗粒化が発生

砂防域

土砂災害の発生

大山山頂部付近には大規模な崩壊地があり、たびたび土砂流出が発生



大山山頂部の崩壊地

・砂防施設の下流河道への影響
不透型砂防堰堤がまだ多く存在